



市史へんさん

第287号

令和5年2月1日
小松市史編纂担当
へんさんだより

2月に入ると、節分、立春と続き、いよいよ春の兆しを感じる頃となります。中国では、立春を春の始まりとすることから一年の始まりとし、そのため、2月は事を始めるのに縁起の良い月とされています。かつて加賀藩では、北前船の船出を2月11日(二十八宿の鬼宿日)に行っていたことから、この日を漁師の仕事始めの日とし、その行事は「起舟(キッシュウ)」と呼ばれています。当地では、安宅住吉神社で漁業関係者が集まり、神主からの祝詞を受け、三升入の大盃を廻し飲みして門出を祝います。こうした季節を感じることでできる年中行事が、当地ではあちこち続けられています。世代交代で無くなる行事が多い中、世代間交流をし、引き継いでいってほしいものです。さて、毎年、実施される古文書講座、今年も継続して聴講しましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

第100・101・102回 市史講座

古文書講座

講師：袖吉 正樹氏

(金沢市立玉川図書館・新修小松市史専門委員)

3/ 5(日)…古文書を読んでみよう
3/12(日)…村方文書を読む
3/19(日)…町方文書を読む

時 間：午後2時～4時

会 場：小松市公会堂4階 大会議室

受講料：無料

定 員：各講座50名(定員になり次第締切)

申込み：電話受付のみ(0761-24-5315)

2月7日午前9時より受付開始

- ☆「古文書を読んでみよう」…古文書の基礎を学び、武家文書(知行宛行状)から武士の実情を探ります
- ☆「村方文書を読む」…村方文書から村御印・人別送状・廻状を取り上げ、当時の村の様子も窺います
- ☆「町方文書を読む」…町方組合御用箱文書から遺書・譲状を取り上げ、町人の相続方法を垣間見ます
(用語解説)

*「知行宛行状(ちぎょうあてがいじょう)」…主君が家臣に与えた知行(俸禄として与えられた土地)の権利を保証した文書

*「村御印(むらごいん)」…年貢(税)の率を記した文書。藩主の印(御印)が押されていることからこのように呼ぶ



『新修 小松市史 通史編 I (原始)』 目次紹介



* 『通史編 I (原始)』 目次構成

第1章 小松の黎明

第1節 地形・地質からみた小松の黎明

- 第1項 地質からみた小松の黎明
- 第2項 小松市の考古遺跡の基盤となる地形
- 第3項 加賀三湖の成り立ちと地形環境変化

第2節 狩猟採集漁労民の文化と社会

- 第1項 旧石器時代の文化と社会
- 第2項 縄文時代の文化と社会

第2章 農耕社会の成立

第1節 弥生時代とは

- 第1項 時代区分としての弥生時代
- 第2項 うつわの移り変わり
- 第3項 墓制の移り変わり

第2節 稲作ムラの風景

- 第1項 発展する稲作ムラ
- 第2項 マツリの風景
- 第3項 八日市地方遺跡の縮小と廃絶
- 第4項 集落の拡散と地域首長誕生への道

第3節 弥生のものづくり

- 第1項 小松ブランドの玉作り
- 第2項 木工の匠技

第3章 古墳築造の時代

第1節 前期古墳と首長居館

- 第1項 古墳の展開と首長居館
- 第2項 玉作りの集落

第2節 中期古墳の様相

第3節 新たな古墳への展開と古墳の終焉

- 第1項 後期古墳と三湖台地域古墳群
- 第2項 三湖台地域古墳群の埴輪と特徴
- 第3項 新たな埋葬施設「横穴式墓室」の導入
- 第4項 古代窯業の始まり
- 第5項 南加賀地域の集落と人々の暮らし
- 第6項 古墳群の終焉と新たな墓制



(写真上)念仏林遺跡1号住居跡出土縄文土器…1章2節2項「大型竪穴建物を持つ集落」で紹介

(写真中)八日市地方遺跡出土管玉…2章3節1項「純国産の碧玉製管玉を目指して」で掲載
(写真下)河田山古墳群…3章3節6項「能美の終末期古墳」で紹介



<2月のカレンダー> 開室時間 10:00~17:00(火~金)/9:00~17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1/29	1/30	1/31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	3/1	3/2	3/3	3/4

* は市史編纂担当の事務局は閉室しています。

小松市史編纂担当 (小松市立図書館 2階)

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

